

## 第2回ジオパーク下仁田協議会学術部会（報告）

日時 令和2年7月3日（木） 午後6時00分

場所 下仁田町自然史館

所 属	氏名	出・欠		所 属	氏名	出・欠
群馬県立自然史博物館	高桑 祐司	出		下仁田ジオパークの会	大河原順次郎	出
下仁田自然学校	中井 均	出		額部公民館 館長	里見 立夫	出
下仁田町歴史館	佐藤 実	出		元 農林大学校	渡辺 悟	欠
下仁田町歴史館	山田 誠司	出		下仁田町自然史館	中村 由克	出
中小坂鉄山研究会	原田 喬	欠		下仁田町自然史館	赤岡 明	出
群馬大学名誉教授	吉川 和男	出		下仁田町自然史館	関谷 友彦	出

### 1 開 会

### 2 報 告

- ・学術部会 部員 群馬県立自然史博物館 菅原さん が日本ジオパーク委員会の委員となるため、令和2年度は学術部会部員を辞退されることになりました。
- ・人事異動に伴い、町文化財保護係（下仁田町歴史館）の神戸さんから佐藤さんに交代となり、更に新たに町に採用された学芸員の山田さんにも学術部会に加わっていただくことになりました。
- ・令和2年度学術奨励金について、書類決議で千葉科学大学の植木さんの申請「下仁田市街地における段丘の年代測定と形成過程の解明、および学校での授業実践」を採択し、大字下仁田地内でボーリング調査を計画してるところです。

### 3 協議事項

#### 1) ジオパークのみどころサイト見直しについて

令和元年度の学術奨励研究「高木・岸田（2019）下仁田ジオパークのジオサイトの評価」及び、近年の情勢を踏まえて新たに追加したほうがよいサイトを加えたのサイト一覧表を提案した（別紙1 今回新規追加したのは黒塗りで表示）

### 協議の結果

- ・ジオサイト（地質学的な重要な資源として保全されるべきサイト）

G-27 妙義山 星穴

G-28 大北野川 金勝山ナップ

G-29 小沢岳

G-30 稲倉山

G-31 二本柱と深山溪谷）

- カルチュラルサイト（文化的・歴史的に重要な資源として保全されるべきサイト）

C-9 白髭岩の三角点

C-10 安楽寺の板碑）

- エコロジカルサイト（生物学的に重要な資源として保全されるべきサイト）

E-1 土屋沢のザゼンソウ

E-2 中丸鉾山 チャツボミゴケの群生地

- ビューポイント（保存すべき対象物はないが、景観が地形やその土地の成り立ちを理解するのに重要なサイト）

- ・東部大橋から見たクリッペ
- ・きよしや駐車場から見たクリッペ

計 11 点を加えることにした。（各サイトの詳細な解説はサイトカルテ参照）

## 2) サイトの保全計画について

別紙 1 のサイトの中で資源をどのように保全していくか部会員から下記の意見が出されました。

- ・保全という視点を考えたときに、サイトを増やしすぎるのもいかなものか？
- ・稲倉山や小沢岳は確かに一般の人にもアクセスしやすくサイトにはなるが、岩を作る岩体（チャート）はいたって普遍的で希少度もそれほどないため保全を考える必要はないのでは？
- ・ほかのジオパークの保全は、銚子の屏風ヶ浦の露頭を保護するため防波堤を作った結果砂浜が減少するという事例や、観光で人が踏みつけた結果、希少な植物が踏み荒らされてしまうなど、損害のある所の事例はよく聞く。年に一度状況を把握するというだけでも保全の一つではないか？
- ・西野牧鉾山では、昔から稀少鉾物が出るとして、人が入ってオークションにも石が売られているという現状、特に近年群馬県の石に指定されて、また一段と入る人が増えており昨年度は鉾物採集回も企画されて、地元の人も困っていると聞いている。
- ・鉾物や化石産地は範囲が広大であり、地主さんにも協力してもらい、入り口に最終禁止などの看板をつけてはどうか
- ・研究者への呼びかけはジオパークの HP の研究者窓口のページでジオパーク内の保全の

理解を促すようにしているが、趣味の採集家には届いていないことが課題。

- すべり面や逆転層など学術的にも評価の高いところは天然記念物にすることで、再度着目してもらえていいのではないか？
- 保全といってもいろんなタイプがあるので、まず事務局で各サイトの対策についてカテゴリー分けして、それから検討するのがよいのではないか？

→結論

次回の部会までに、部会員は保全の事例を各ジオパークのHPから集めたり、カルテの内容校正をすることになりました。また事務局では、各サイト毎における保全対策をカテゴリー分け（例えば 年に 1 回のモニタリング、天然記念物にして法律で保護、地域住民の目で守る など）をして次回の会議までに事務局案を作る。

また、カルテは公開可能な範囲のものをHPなどで公開することを検討することになりました。

これらのカルテの完成と保全計画づくりを令和 2 年度中に作ることとなりました。

### 3) ジオパークの魅せ方検討

別紙 2 のとおり 昨年からストーリーワーキンググループで検討してきたジオパークの魅せ方を中間報告し、検討しました。小テーマからあふれた資産については再度、ワーキンググループで検討することにしました。

尚、現段階の原案を学術部会案として協議会にモデルコースとテーマを提案することになりました。

### 4 次回の部会開催について

10—11 月頃 日時については予め部会員に日程を調整して会議を開催することにしました。